

シナノレッド

登録番号：第5867号

登録年月日：平成9年12月5日

登録者：長野県（長野県長野市南長野字幅下692-2）

育成者：臼田 彰 小松宏光

羽生田忠敬 山下裕之 宮

沢孝幸 小池洋男 小林祐

造 飯島貞次 馬場孝幸

来歴：「つがる」と「ピスタベラ」の交雑実生

特 性

■栽培特性

樹姿は中間、樹の大きさ、樹勢はいずれも中である。短果枝の形成、花芽の着生はいずれも良好で、腋花芽の着生は少ないほうである。葉身の形は「ふじ」と同じく中間でLD比は1.36、大きさ(葉身の長さ)は中である。鋸歯は「つがる」と同じく鈍鋸歯である。

開花期は4月下旬～5月上旬で、満開期は5月上旬で、主要品種の「ふじ」や「つがる」と同時期である。花粉は稔性で、他品種との交雑和合性は「ふじ」、「つがる」および「玉林」との間で相互に高い。また、「紅玉」、「世界一」、「千秋」等に対して和合性である。自家結実性は認められない。

育成地(長野県須坂市)における成熟期は年次変動がみられるが、8月上～下旬で、「つがる」より2週間程度、「さんざ」より1週間程度早い。満開後成熟に要する日数は100日前後である。

■果実特性

果実は250g前後で中である。果形は長円で、王冠は認められない。果皮を被う色は赤～濃赤で、縞は明瞭である。果面のさびは無～わずかである。果梗の長さおよび太さは中位で、肉梗の発生はない。果肉の色は黄白色で、果肉の褐色化の度合いは弱い。果肉の硬さ、きめはともに中程度で、果汁が多く、蜜は入らない。甘味は中位で、屈折計示度で13～14%、酸味は弱く、滴定酸度(リンゴ酸換算)は0.4～0.5%である。食味は甘酸のバランスが良く、多汁で良好である。果肉の粉質化の程度は中位で、日持ち性は室温で1週間程度、冷蔵で1ヶ月程度である。この時期の品種としては鮮度保持期間は長い。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

病害虫に対する抵抗性は、既存品種並と思われる。試作の範囲では通常の防除で病害虫の大きな被害はみられていない。斑点落葉病に対する接種試験の結果では、罹病性は「つがる」より低かった。黒星病や赤星病には、遺伝的背景から罹病性と考えられる。

生理的落果は早期、後期ともに少ない。コルクスポット、ビターピットの発生はともに少ない。若木や高接ぎ後間もない樹では成熟期に果肉の褐変がみられるが、樹勢が落ち着くにしがたい、減少する傾向にある。

■地域適応性

「シナノレッド」は、「つがる」と比べ高温下でも、着色が良く、「つがる」が着色不良な地帯でも栽培が可能と考えられる。一方、寒冷な地帯での栽培例は少ないが、外観、品質ともに問題はみられなかった。したがって本品種は従来のリンゴ栽培地帯いずれでも栽培が可能な品種と思われる。早生の「つがる」と比べた場合、成熟期が早く、着色が良いなどの長所はあるが、果実の大きさ、日持ち性も含めた総合的な商品価値では及ばない面もある。特に、他の地域の「つがる」が出荷されてから本品種が成熟するような寒冷な晩熟地帯では、他産地の「つがる」と市場で競合し、経済的なメリットは少ないと思われる。したがって、本品種はどちらかといえば早熟地帯での適応性が高く、長野県、群馬県など東山地域や福島県、山形県など南東北地域に適した品種と思われる。(小松宏光)